

# 人文科学研究所研究叢書

## 51.『映像表現の地平』

2010年12月10日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格3,600円（税別）

ISBN 978-4-8057-5337-8

まえがき	
第一章 反逆のスペクタクル、あるいは遅れてきた奇術師 —『ドクトル・マブゼ』論	岩本 剛
第二章 小説から映画へ、メディアの変更で見えてくるもの —『ボヴァリー夫人』をめぐる、フローベールからルノワールへ	三原 智子
第三章 言葉とインスピレーション —ロベール・ブレソンの映画制作をめぐる	福田 桃子
第四章 「フットボール（映画）」としての『ミニミニ大作戦』	秋山 嘉
第五章 クロード・シャブロール、あるいは逆説の日常 —『ヴィオレット・ノジュール』をめぐる	大久保 清朗
第六章 再考キング・ヴィダー —創造的現在	佐藤 歩
第七章 映画と小説の距離 —『暗室』の場合	鈴木 重生
第八章 引き裂かれたカーテン —『主婦マリーがしたこと』をめぐる	大寺 眞輔
第九章 オーガナイズされたカオス —パニック映画論	石橋 今日美
第一〇章 監督 堀禎一 —物語と現実	伊藤 洋司